

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域ケア会議運営事業			会計	款	項目	大	小
政 策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民	意図	地域ケア会議によって、個別の課題解決や地域の資源開発などにつなげていき、高齢者が住み慣れた地域で生活していくことができるようにする。
事業内容	地域ケア会議は、多職種による個別事例の検討を通じ、高齢者の自立に資するケアプランにつなげていくとともに、検討事例を積み重ねることで地域課題の発見や新たな資源開発等につなげていき、地域包括ケアシステムの構築の推進を図るものである。地域ケア会議へのアドバイザーの参加を通して、有効な会議の開催をすすめていく。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度より介護保険法で位置付けられ、各地域包括支援センターにて多職種による個別事例の検討を重ねている。平成30年度から市と地域包括支援センターとの共催で自立支援型地域ケア会議の取組みを始めた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	自立支援型地域ケア会議開催数				1 回	↑↑↑
②	事例検討件数				2 件	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

自立支援型地域ケア会議に取り組み始め、平成30年度は模擬会議として1回開催をした。令和元年度は本格稼働を行う予定。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,492,500	3,446,000	4,014,000
事業費(b)(円)	60,000	90,000	58,800
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	3,432,500	3,356,000	3,955,200
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.60
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地域ケア個別会議を積み重ね地域の課題を抽出し、地域ケア会議につなげる。	③取組における課題(Check)	圏域の地域ケア会議から市全体の地域課題を抽出した流山市地域ケア推進会議を開催していない。
②H30に実施した取組(Do)	地域ケア会議の内容から、地域課題の抽出をした。自立支援型地域ケア会議（模擬会議）を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	流山市地域ケア推進会議を開催。自立支援型地域ケア会議を本格的に開催していく。